

地域ポータルで城東区の情報インフラ目指す



城東区の商店街の店主や大阪商議所、自治会のメンバーを精力的に取材。今年6月から、自身が生まれ育った同区の情報に特化した地域密着のポータルサイト「城東生活ナビ」(ホームページ研究会)を本格的に移動させた。

きっかけは「長年住む地元にも、知らないことが多いことから。最近の取材ではプロレスで『ポプサップに勝利したレスラー』ゼウス選手が運営するスポーツジム『キングジム』(鶴野西2)や、地域運動として同区の小学校で盛んに活動する『よさこいソラン』を根付かせた中村好

宏さん、地域の飲食店などが食べ歩きできる『せきめ のえあんどうばい』など。

『街のキーマン』に数多く会う一方、地域の生の声が発信できるものにと力を込める。

今後は同区の情報インフラを整備したいと、まずは1年後に「100件の店や企業、人を取材し掲載したい」と意欲的だ。

同サイトは2年前から準備していた。中小企業の新事業を応援する大阪府の「経営革新計画承認事業」の承認を取得。法人ではなく、個人で承認を得るケースは珍しいという。

サラリーマン時代には不動産の工事管理からスーパーやレジャー施設のシステム管理に従事。独立してからは学習塾経営など、これまで7つの仕事を経験した。「やらないのは経理べらぼうに照れなくやろうと話した」。

城東生活ナビのサイトは <http://www.joto-info.net/>

(上部)